

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚東八幡物流センター新築工事	階数	地上2F
建設地	平塚市東八幡五丁目1744番1の一部 外4筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域 建築基準法第22条区域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2017年1月27日
敷地面積	9,370 m <sup>2</sup>	作成者	コンストラクションマネジメントジャパン株式会社
建築面積	5,075 m <sup>2</sup>	確認日	2014年1月27日
延床面積	9,649 m <sup>2</sup>	確認者	コンストラクションマネジメントジャパン株式会社

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 77%  
③上記+②以外の 77%  
④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 4.1  
LR2 資源・マテリアル: 3.0  
LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 広範囲なテナントが利用可能なように汎用性の高い建物を提供する。 入居企業が安全かつ効率的に庫内運営及び輸配送が行うことが出来る施設をローコストで提供する。		<b>その他</b> 将来的に屋根に太陽光発電設備の設置が可能なように、積載荷重を見込んで構造計画を行った。
<b>Q1 室内環境</b> 倉庫とはいえ、内壁にボードを貼り、屋根を断熱2重折板とし断熱性に配慮した。倉庫は荷捌き作業も行うため、空調を設置し快適な作業空間とする。事務室は一般的なオフィスビル等と同等の執務空間となるような内装仕上・空調管理とする。	<b>Q2 サービス性能</b> 空調機増設などに対応できるよう、設備置場バルコニーを設置している。また、将来の機器入れ替え等に対応できるよう2階に搬出入口を確保している。 床荷重設定も14,800N/m <sup>2</sup> としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 構内道路として舗装が必要な範囲外は、緑地とし植栽を施している。
<b>LR1 エネルギー</b> 事務室廻りの壁・天井に断熱材を施し、熱負荷を抑えた。倉庫壁も外壁鋼板の内側にボードを貼り、断熱性や防音性に優れた室内外の環境に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建設工事で使用する材料の種類が限られており、リサイクル材などを利用するのが難しいが、再生砕石など出来るだけ再生材の利用を図る。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地周囲に緑地を配し、周辺環境へ配慮した。敷地内への出入口を2箇所とし、車両出入の停滞を低減させた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される